

第3学年 国語科 年間学習計画と評価

1 教科目標等について

目標	言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、国語で正確に理解し適切に表現する資質・能力を養う。		
	(1) 社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の言語文化に親しんだり理解したりすることができる。〔知識・技能〕		
	(2) 論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を養い、社会生活における人との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができる。〔思考・判断・表現〕		
教科書	(3) 言葉がもつ価値を認識するとともに、読書を通して自己を向上させ、我が国の言語文化に関わり、思いや考えを伝え合おうとする。〔主体的に学習に取り組む態度〕		
	国語3（光村図書） 新編新しい書写1・2・3年用（東京書籍）		
副教材	E漢字（とうほう） よくわかる中学国文法（吉野教育図） 国語便覧（浜島書店）		

2 評価の観点及び方法

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
以下の事項について、他の学習や生活の場面でも活用できる程度に概念等を理解したり、技能を習得したりしている。 (1)言葉の特徴や使い方に関する事項（漢字、語彙、文等のきまり、表現技法等） (2)情報の扱い方に関する事項（文章や資料等の関係を理解や整理等） (3)我が国の言語文化に関する事項（伝統的な言語文化や書写等）	各単元の中で設定されている「話す・聞く」「書く」「読む」といった言語活動を通して、既習の知識や技能等を適切に活用したり、複数の知識や技能等を結び付けたりしながら、学習課題や自分なりの問いに対して、考えたり、判断したり、表現したりしている。	各単元における知識及び技能を習得したり、思考力、判断力、表現力等を身に付けたりするために、自らの学習状況を把握し、学習の進め方について試行錯誤するなど自らの学習を調整しながら、最後まで粘り強く学習しようとしている。
・テスト（定期、漢字、技能等） ・授業の活動や発言 ・指導に対する成果物（ノート、ワークシート、レポート、作品等）	・テスト（定期、単元等） ・授業の活動や発言 ・指導に対する成果物（ノート、ワークシート、レポート、作品等）	・授業の活動や発言 ・指導に対する成果物（ノート、ワークシート、レポート、作品等）＊長期休業中のものを含む。 ・振り返りプリント

3 学習についてのアドバイス

学 校	・学習課題等を捉え、自分なりの問いを持ち、解決する方法を工夫しましょう。 ・先生の指示や友達の発言をしっかりと聞き、自分の考えと比較しながら考えましょう。 ・目的や対象等を意識して、伝わるように話したり、文章を書いたりするようにしましょう。 ・文章を読む際には、内容や構造等を捉え、自分の考えを深めていくようにしましょう。 ・学習の記録（ノート等）は、工夫して丁寧にまとめるとともに、自分の考えや気付いたことなども書き込みましょう。
	・授業があった教科は、その日のうちに、教材（教科書、副教材、プリントなど）やノートを見直し、復習しましょう。 ・E漢字を使って確実に実力をつけましょう。 ・テスト期間中は、計画的にそれまでの復習を行いましょう。 ・月に1冊以上は本を読むようにしましょう。

4 主な単元・教材及び目標

※単元等や目標については、主なものを明記しています。

月	主な単元・教材等	主な学習目標
4	オリエンテーション 椰子の実／詩の表現技法 握手（読） 文法の学習（助詞とそれまでに習ったことの復習） 熟語の読み方	・国語の学習のしかたや副教材について再確認する。 ・文語定型詩をもとに用いられる主な表現技法を確認する。 ・作者の実体験に生かした小説で、当時の状況をイメージする。登場人物の心情の変化やその行動の意味を考える。 ・各品詞の分類や活用形などの見分け方を確認する。 ・文節分けの仕方や文の成分について確認する。 ・音読み、訓読みの熟語以外に「重箱読み」「湯桶読み」を知る。
5	俳句を味わう 情報整理のレッスン 情報の信頼性 作られた「物語」を超えて	・俳句の定義について知る。 ・作者の置かれた「状況」と「感動」を想像し、鑑賞文を書く。 ・情報の信頼性の確かめ方を理解する。 ・作品中の具体例をもとに、筆者の主張を把握すると同時に、身の回りの事象にあてはまるものを探す。
6	リオの伝説のスピーチ 報道文を比較して読もう	・スピーチを読んで、どういう点が優れているか、また、足りない点や不確かな点はないかを考える。 ・2つの報道文の大きな違いは何かを考え、発表する。 ・身の回りのさまざまな情報を、どのようにして自分のものとするのがよいか考える。
7	和語・漢語・外来語 挨拶－原爆の写真によせて 読書コラム「ためになるってどんなこと？」 故郷	・言葉の種類とその特徴について理解する。 ・それぞれの言葉が表すものが何なのか、疑問を持つ。 ・出された疑問を整理し、全体で話し合う中で、詩全体が主張しようとしているものをイメージする。 ・夏休みの読書に活かせるか考える。 ・作品の中の状況（時代・場所・社会事情）や登場人物について調べる。そのうえで、感想を書く。
9	万葉・古今・新古今 慣用句・ことわざ・故事成語 犬に名前のない社会	・古典の三大和歌集について時代や特徴を大まかに知る。 ・和歌にも短歌以外の種類があることを知る。 ・口語訳をしたうえで鑑賞文を書く。 ・故事成語の復習と、慣用句などの確認を行う。 ・具体例をもとに、筆者の主張を予想しながら読む。 ・筆者の主張について、批評し、話し合う。 ・身の回りで、あてはまる事象がないか考える。
10	学びて時にこれを習う 人間と人工知能と創造性 多角的に分析して書こう	・漢文の基礎知識（3種類の文体や、返り点など）を復習する。 ・名言には、現代でもあてはまることが多くあることを知る。 ・筆者の言う「人工知能の優れた点と、限界」を把握したうえで、自分たち人間に（自分に）必要なことは何かを考える。 ・ある話題について、自分の考えを持ち、その結論と理由をを効果的に伝えるような意見作文を書く。
11	音読を楽しもう 「初恋」 おくのほそ道	・言葉の響きやリズムを味わいながら朗読する。 ・古典文の特徴（歴史的かなづかい、古語など）を再確認する。 ・特に「の」と「が」の入れ替わりに注意する。 ・平泉の部分では、口語訳をもとに、芭蕉の心情を想像する。
12	文法の総復習 書写	・1年生で学んだ「文節分け」から「品詞の分類」までの復習を行う。（特に「活用」のある単語を重点的に） ・「行書」の復習。
1	温かいスープ 万葉集を当時の音で読む わたしを束ねないで	・国際社会における人と人との関係について、考えを深める。 ・現代の方言に昔の発音を知る手がかりがあることを知る。 ・詩の中の言葉や表現から作品のもつメッセージを捉える。
2	高瀬舟	・作者の投げかけた「問い」に対しての自分なりの答えを持つ。
3	サーカスの馬 メリー・ゴー・ラウンド	・作品の状況と登場人物の心情の変化を味わう。 ・登場人物のちょっとした行動からその考えをつかむとともに、その先の展開を予想する面白さを味わう。

※書写は、国語科の授業の中で年間10時間程度行われます。以下は、年間を通じた学習目標です。

- ・身の回りの多様な表現を通して文字文化の豊かさに触れ、効果的に文字を書く。

第3学年社会科 年間学習計画と評価

1 教科目標等について

目標	社会的な見方・考え方を働かせ、課題を追究したり解決したりする活動を通して、広い視野に立ち、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の形成者に必要な公民としての資質・能力の基礎を育成することを目指す。 (1) 我が国の国土と歴史、現代の政治、経済、国際関係等に関して理解するとともに、調査や諸資料から様々な情報を効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。 (2) 社会的事象の意味や意義、特色や相互の関連を多面的・多角的に考察したり、社会に見られる課題の解決に向けて選択・判断したりする力、思考・判断したことを説明したり、それらを基に議論したりする力を養う。 (3) 社会的事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に解決しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される我が国の国土や歴史に対する愛情、国民権を担う公民として、自国を愛し、その平和と繁栄を図ることや、他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを深める。
教科書	新しい社会 歴史（東京書籍）、中学社会公民的分野（日本文教出版）、地図帳（帝国書院）
副教材	社会の自主学习：歴史2・3（新学社）、 社会の自主学习：公民（新学社）、ビジュアル公民（とうほう）

2 評価の観点及び方法

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
【歴史】 我が国の歴史の大きな流れを、世界の歴史を背景に、各時代の特色を踏まえて理解するとともに、諸資料から歴史に関する様々な情報を効果的に調べまとめている。 【公民】 個人の尊厳と人権の尊重の意義、特に自由・権利と責任・義務との関係を広い視野から正しく認識し、民主主義、民主政治の意義、国民の生活の向上と経済活動との関わり、現代の社会生活及び国際関係などについて、個人と社会との関わりを中心に理解を深めているとともに、諸資料から現代の社会的事象に関する情報を効果的に調べまとめている。	【歴史】 歴史に関わる事象の意味や意義、伝統と文化の特色などを、時期や年代、推移、比較、相互の関連や現在とのつながりなどに着目して多面的・多角的に考察したり、歴史に見られる課題を把握し複数の立場や意見を踏まえて公正に選択・判断したり、思考・判断したことを説明したり、それらを基に議論したりしている。 【公民】 社会的事象の意味や意義、特色や相互の関連を現代の社会生活と関連付けて多面的・多角的に考察したり、現代社会に見られる課題について公正に判断したり、思考・判断したことを説明したり、それらを基に議論したりしている。	【歴史】 歴史に関わる諸事象について、国家及び社会の担い手として、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究、解決しようとしている。 【公民】 現代の社会的事象について、国家及び社会の担い手として、現代社会に見られる課題の解決を視野に主体的に社会に関わろうとしている。
定期テスト、単元テストや小テスト ※「知っている・できる」レベルだけでなく、「わかる」レベルの概念的理解を問う問題など	定期テスト、単元テストや小テスト ※「わかる」レベルの思考を問う問題や、「使える」レベルの思考を意識した記述問題 複数の技能を組み合わせた実技テスト パフォーマンス課題などの課題 ポートフォリオなどの記述 授業中の発言 など	定期テスト、単元テストや小テスト 授業中の活動や発言 ポートフォリオなどの記述 パフォーマンス課題などの課題 など

※発言…言語活動を通して、話題や相手の話をもとに、思考しながら話をしたり、意見を述べたりすること

※パフォーマンス課題…思考のみならず、粘り強く考える意欲や、見方・考え方を働かせて考えようとする知的態度などが試されるような課題

3 学習についてのアドバイス

学 校	・自分の考えをしっかりと発信しましょう。その際には、資料や今までの学習などの根拠をもとに、理由もふまえながらの発信に心がけましょう。 ・他の人の考えにしっかりと耳を傾けましょう。その際には、自分の考えと比較し、同じところや違うところを考えながら聞きましょう。 ・「問い」の意識をもち、他の人の考えを聞いたり、様々な資料を積極的に使ったりしながら、学習を深めていきましょう。 ・ノートへは、黒板に書かれたことだけではなく、自分の気づきや学習のポイントだと考えるところを積極的に書きましょう。
	・新聞やテレビから、社会で起こっている出来事を知り、授業で学習した内容との関連を見いだすとともに、現在進行的な社会事象への関心を高めましょう。 ・学習した内容に関連する資料を集めたり、調べものをしたりして、追究を深めましょう。 ・ノートやワーク、i プリ等を利用して、予習や復習をする習慣をつけましょう。

4 主な単元・教材及び目標

※単元等や目標については、主なものを明記しています。

月	主な単元・教材等	主な学習目標
4	(歴) 明治維新	・新政府の方針や諸改革の内容、中央集権国家の体制が確立していったことを理解する。 ・新政府が行った学制・兵制・税制の改革の具体的な内容を理解する。 ・明治維新の三大改革が人々の生活に及ぼした影響について考察し、表現する。 ・新政府が行った富国強兵・殖産興業政策の具体的な内容を理解する。 ・岩倉使節団の目的と帰国後の近代化への影響、明治初期の外交政策について捉える。 ・領土の確定について、近代的な国際関係の下で、新政府が行った外交政策を理解する。 ・竹島、北方領土、尖閣諸島が日本固有の領土になった時期や経緯と、日本政府の見解を理解する。 ・自由民権運動が始まった経緯や、改革への不満から士族の反乱が起きた過程を理解する。 ・議院政治が始まったことの歴史的意義や、現代の政治とのつながりを考察し、表現する。
	(歴) 日清・日露戦争と近代産業	・欧米諸国の植民地獲得競争、日清戦争に至るまでの背景としての東アジアの情勢を理解する。 ・下関条約の内容に関心を持ち、戦後のアジアの国際関係や国内情勢

5		を捉える。 ・日露戦争について、戦争の規模や国内外の反応を様々な視点から考察し、表現する。 ・産業革命によって、都市や農山漁村の生活に大きな変化が生じたことを捉える。 ・明治時代の文化は、どのような特色を持っていたのかを考察し表現する。
5	(歴) 【二度の世界大戦と日本】 (歴) 第一次世界大戦と日本 (歴) 大正デモクラシーの時代	・二度の世界大戦とその間の出来事について、世界の動きと関連させながら、概要を理解する。 ・二度の世界大戦のころの日本の政治・経済・社会・文化の動きについて理解し、知識を身につける。 ・表やグラフなどを用いて、客観的な統計から、当時の情勢を読み取る。 ・写真や日記、記録などの資料を活用し、当時の国民の生活の様子を読み取る。
6	(歴) 世界恐慌と日本の中国侵略 (歴) 第二次世界大戦と日本 (歴) まとめ	・各国の動きについて、公正に判断し、自分の意見を述べる。 ・日本の政治・経済・外交の動きを世界の動きと関連させながら考え、当時の日本のとるべき道を判断し、自分の意見を述べる。 ・二度の世界大戦について関心を持ち、なぜこのような戦争を引き起こしてしまったのかについて、追究する態度を身に付ける。 ・戦争体験者など、当時を知っている方々に話を聞く機会を、意欲的に利用しようとする。
7	(歴) 【現代の日本と私たち】 (歴) 戦後日本の出発 (歴) 冷戦と日本の発展 (歴) 新たな時代の日本と世界	・第二次世界大戦後に行われた日本の諸改革により、日本はどのように再建を遂げていったのかを、苦しい状況の中、男女普通選挙の確立や、日本国憲法などを制定し民主化政策を進め、冷戦の中、国際社会の復帰を果たしたことなどを基に理解する。 ・現代の日本の役割が国際社会で大きくなってきたことを、高度経済成長や沖縄返還などの国際社会との関わりの深まり、冷戦終結後の世界情勢を基に理解する。 ・戦後の日本の歩みについて、国内外の様子など様々な事象を関連付けながら、多面的・多角的に考察し、表現する。 ・現代の日本がどのような特色を持つのかについて、現代の日本の歴史を大観し、その特色を多面的・多角的に考察する。 ・現代の日本の特徴を理解しようと、現代の我々とのつながりに着目しながら、学習の見通しを立て、課題の解決に取り組む。
9	㊤ 【私たちと現代社会】 ＜私たちが生きる現代社会＞ (公) 私たちが生きる現代社会の特色 (公) 現代社会の文化と私たち ㊤ 【私たちと現代社会】 ＜現代社会の見方・考え方＞ (公) まとめ	・現代日本の特色として少子高齢化、情報化、グローバル化などが見られることを理解する。・現代社会における文化の意義や影響について理解する。 ・位置や空間的な広がり、推移や変化などに着目して、少子高齢化、情報化、グローバル化などが現在と将来の政治、経済、国際関係に与える影響について多面的・多角的に考察し、表現している。 ・位置や空間的な広がり、推移や変化などに着目して、文化の継承と創造の意義について多面的・多角的に考察し、表現する。 ・私たちと現代社会について、現代社会に見られる課題の解決を視

		野に主体的に社会に関わろうとする。
10	㊤【私たちの生活と政治】 ＜個人の尊重と日本国憲法＞ (公) 法に基づく政治と日本国憲法 (公) 日本国憲法と基本的人権 (公) 日本の平和主義 (公) まとめ	・人間の尊重についての考え方を、基本的人権を中心に深め、法の意義を理解する。 ・民主的な社会生活を営むためには、法に基づく政治が大切であることを理解する。 ・日本国憲法が基本的人権の尊重、国民主権及び平和主義を基本的原則としていることについて理解する。 ・日本国及び日本国民統合の象徴としての天皇の地位と天皇の国事に関する行為について理解する。 ・対立と合意、効率と公正、個人の尊重と法の支配、民主主義などに着目して、日本の政治が日本国憲法に基づいて行われていることの意義について多面的・多角的に考察し、表現する。 ・個人の尊重と日本国憲法について、現代社会に見られる課題の解決を視野に主体的に社会に関わろうとする。
11		
12	㊤【私たちの生活と政治】 ＜国民主権と日本の政治＞ (公) 民主政治と政治参加 (公) 国の政治のしくみ (公) くらしを支える地方自治 (公) まとめ	・国会を中心とする日本の政治のしくみのあらましや政党の役割を理解する。 ・議会制民主主義の意義、多数決の原理とその運用のあり方について理解する。 ・国民の権利を守り、社会の秩序を維持するために、法に基づく公正な裁判の保障があることについて理解する。 ・地方公共団体の政治のしくみ、住民の権利や義務を基に、地方自治の基本的な考え方について理解する。 ・対立と合意、効率と公正、個人の尊重と法の支配、民主主義などに着目して、民主政治の推進と、公正な世論の形成や選挙など国民の政治参加との関連について多面的・多角的に考察、構想し、表現する。 ・国民主権と日本の政治について、現代社会に見られる課題の解決を視野に主体的に社会に関わろうとする。
12		
1	㊤【私たちの生活と経済】 ＜市場のはたらきと経済＞ (公) 経済のしくみと消費生活 (公) 生産の場としての企業 (公) 金融のしくみとお金の大切さ ㊤【私たちの生活と経済】 ＜国民の生活と政府の役割＞	・身近な消費生活を中心に経済活動の意義や市場経済の基本的な考え方、現代の生産や金融などのしくみや働き、勤労の権利と義務、労働組合の意義及び労働基準法の問題について理解する。 ・財政及び租税の意義、国民の納税の義務について理解するとともに、社会資本の整備、公害の防止など環境の保全、少子高齢社会における社会保障の充実・安定化、消費者の保護について、それらの意義を理解する。 ・対立と合意、効率と公正、分業と交換、希少性などに着目して、

2	(公) まとめ	個人や企業の経済活動における役割と責任、社会生活における職業の意義と役割及び雇用と労働条件の改善、財政及び租税の役割について多面的・多角的に考察、表現する。 ・対立と合意、効率と公正、分業と交換、希少性などに着目して、市場の働きに委ねることが難しい諸問題に関して、国や地方公共団体が果たす役割について多面的・多角的に考察・構想し、表現する。 ・私たちの生活と経済について、現代社会に見られる課題の解決を視野に主体的に社会に関わろうとする。
	㊦ 【私たちと国際社会】 <現代の国際社会と課題> (公) 国家と国際社会 (公) 国際社会の課題と私たちの取り組み	・領土と国家主権、国際連合の働きなど基本的な事項を基に、世界平和の実現と人類の福祉の増大のために、国際協調の観点から、国家間の相互の主権の尊重と協力及び国際機構などの役割が大切であることを理解する。
	(公) まとめ	・地球環境、資源・エネルギー、貧困などの課題の解決のために経済的、技術的な協力などが大切であることを理解する。 ・対立と合意、効率と公正、協調、持続可能性などに着目して、文化と宗教の多様性及び日本国憲法の平和主義を基に、日本の安全と防衛、国際貢献を含む国際社会における日本の役割について多面的・多角的に考察、構想し、表現する。 ・私たちと国際社会について、現代社会に見られる課題の解決を視野に主体的に社会に関わろうとする。
3	㊦ 【私たちと国際社会】 <私たちの課題>	・持続可能な社会を築いていくために解決すべき課題に関わる基本的な事項について理解している。 ・諸資料から、持続可能な社会を築いていくために解決すべき課題の解決に関する情報を効果的に調べまとめる技能を身に付けている。 ・社会的な見方・考え方を働かせ、私たちが持続可能な社会を築いていくために解決すべき課題について多面的・多角的に考察・構想し、自分の考えを説明、論述している。 ・私たちが持続可能な社会を築いていくために解決すべき課題について、現代社会に見られる課題の解決を視野に主体的に社会に関わろうとしている。

第3学年 数学科 年間学習計画と評価

1 教科目標等について

目標	数学的な見方・考え方を働かせ、数学的活動を通して、数学的に考える資質・能力を養う。 (1)数量や図形などについての基礎的な概念や原理・法則などを理解するとともに、事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付けるようにする。〔知識及び技能〕 (2)数学を活用して事象を論理的に考察する力、数量や図形などの性質を見いだし統合的・発展的に考察する力、数学的な表現を用いて事象を簡潔・明瞭・的確に表現する力を養う。〔思考力、判断力、表現力等〕 (3)数学的活動の楽しさや数学のよさを実感して粘り強く考え、数学を生活や学習に生かそうとする態度、問題解決の過程を振り返って評価・改善しようとする態度を養う。〔学びに向かう力、人間性等〕
	教科書
教科書	未来へひろがる数学3（啓林館）
副教材	問題ノート

2 評価の観点及び方法

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
- 数の平方根、多項式と二次方程式、図形の相似、円周角と中心角の関係、三平方の定理、関数 $y=ax^2$、標本調査などについての基礎的な概念や原理・法則などを理解している。 - 事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付けている。	数の範囲に着目し、数の性質や計算について考察したり、文字を用いて数量の関係や法則などを考察したりする力、図形の構成要素の関係に着目し、図形の性質や計量について論理的に考察し表現する力、関数関係に着目し、その特徴を表式、グラフを相互に関連付けて考察する力、標本と母集団の関係に着目し、母集団の傾向を推定し判断したり、調査の方法や結果を批判的に考察したりする力を身に付けている。	数学的活動の楽しさや数学のよさを実感して粘り強く考え、数学を生活や学習に生かそうとしたり、問題解決の過程を振り返って評価・改善しようとしたり、多様な考えを認め、よりよく問題解決しようとしたりしている。
- 定期・小テスト等 - パフォーマンス（技能）テスト - 授業の様子や発言内容	- 定期・小テスト等 - 授業様子や発言内容 - 指導に対する成果物（レポート、作品等）	- 授業の様子や発言内容 - 指導に対する成果物（レポート、作品等） - 振り返り（自己・相互評価）

3 学習についてのアドバイス

学校	- これまでに身に付けた知識や考え方を利用して、課題を考える習慣をつけましょう。 - 自分の意見は、具体的にわかりやすく伝えるようにしましょう。 - 他の人の意見を聞くときは、自分の意見と比べながらしっかりと聞きましょう。 - ノートやテキストには、黒板に書かれたことを写すのではなく、他の人の説明や、自分の考えを書き加えるなどして工夫して書くようにしましょう。
----	--

- ・分からない問題や間違えた問題は解答や教科書を参考に、次の授業までに理解できるようにしておきましょう。
- ・授業で学習した内容に関連する問題（「ドリルパーク」の標準問題や発展問題）でしっかりと練習するようにしましょう。
- ・定期テスト直前にまとめて学習するのではなく、計画的に問題集を進めておきましょう。

4 主な単元・教材及び目標

※単元等や目標については、主なものを明記しています。

月	主な単元・教材等	主な学習目標
4	・式の展開と因数分解 1. 式の乗法・除法 2. 乗法の公式 3. 因数分解	(知) 展開の意味を理解し、多項式と単項式の乗法、除法や多項式どうしの乗法の計算や、乗法の公式を用いた式の展開をすることができる。また、因数及び因数分解の意味を理解し、共通因数をくくり出したり乗法の公式を用いたりして、因数分解することができる。 (思) 既に学習した計算の方法と関連づけて、多項式と単項式の乗法・除法の計算の方法や、多項式どうしの乗法の計算をする方法を考察し表現することができる。また、$(a+b)(c+d)$の展開をもとにして、乗法の公式を見だし、それと関連づけて、式を因数分解する方法を考察し表現することができる。
5	・式の計算の利用 1. 式の計算の利用	(知) 数量及び数量の関係を帰納や類推によって捉え、それを文字式を使って一般的に説明することの必要性和意味を理解している。そして、乗法の公式や因数分解の公式を活用し、目的に応じて式を変形することができる。数や式の値の計算をしたりすることができる。 (思) 数や図形の性質などが成り立つことを、数量及び数量の関係を捉え、文字式で説明したり、説明に用いた式の変形等をふり返ったり、数や図形についての新たな性質などを読み取り表現したりすることができる。また、乗法の公式や因数分解の公式を活用して、能率よく数や式の値の計算をする方法を考察し表現することができる。
6	・平方根 1. 平方根 2. 平方根の値 3. 有理数と無理数 4. 真の値と近似値	(知) 数の平方根の必要性和意味を理解することができる。 (思) 数の平方根の必要性や意味を考察し、表現することができる。
	・根号をふくむ式の計算 1. 根号をふくむ式の乗法、除法 2. 根号をふくむ式の計算	(知) 数の平方根を含む簡単な式の計算をすることができる。 (思) 既に学習した計算の方法と関連づけて、数の平方根を含む式の計算の方法を考察し表現することができる。
	・平方根の利用 1. 平方根の利用	(知) 具体的な場面で数の平方根を用いて表したり処理したりすることができる。 (思) 数の平方根を具体的な場面で活用することができる。
	・二次方程式 1. 二次方程式とその解き方 2. 二次方程式の解の公式 3. 二次方程式と因数分解	(知) 二次方程式とその解の意味を理解し、解の公式や、因数分解を使って、二次方程式を解くことができる。 (思) 二次方程式の解の公式を導くことができる。また、因数分解を使って、二次方程式を解く方法を導くことができる。
7	・二次方程式の利用 1. 二次方程式の利用	(知) 問題を解決するために、二次方程式を解くことができる。 (思) 二次方程式を利用して、問題を解決することができる。
9	・関数とグラフ	(知) 関数 $y=ax^2$ のグラフとその特徴を理解し、関数 $y=ax^2$ のグラ

10	1. 関数 $y=ax^2$ 2. 関数 $y=ax^2$ のグラフ	フをかくことができる。 (思) 関数 $y=ax^2$ のグラフの特徴を表や式と関連付けて考察し、表現することができる。
	・関数 $y=ax^2$ の値の変化 1. 関数 $y=ax^2$ の値の増減と変域 2. 関数 $y=ax^2$ の変化の割合	(知) 関数 $y=ax^2$ のとる値の変化の割合について調べ、一次関数との違いがわかる。 (思) 関数 $y=ax^2$ の x の値が変化するときの y の値の増減の様子を考察し表現することができる。
	・いろいろな事象と関数の利用 1. 関数 $y=ax^2$ の利用 2. いろいろな関数の利用	(知) 具体的な事象の中から見いだした関数関係の中には、既習の比例、反比例、一次関数、関数 $y=ax^2$ 、それらとは異なるものがあることを理解することができる。 (思) 身のまわりに関数 $y=ax^2$ と関わりの深い事象があることを知り、 $y=ax^2$ の関係を利用して、問題を解決することができる。
	・図形と相似 1. 相似な図形 2. 三角形の相似条件 3. 三角形の相似条件と証明	(知) 相似な図形の性質を見出し、その関係性を記号を使って表したり、対応する辺の長さや角の大きさを求めるたりすることができる。 (思) 三角形の相似条件の意味を理解し、図形の性質を三角形の相似条件を用いて証明することができる。
	・平行線と線分の比 1. 平行線と線分の比 2. 中点連結定理	(知) 平行線と線分の比についての性質や中点連結定理を理解し、線分の長さなどを求めることができる。 (思) 平行線と線分の比についての性質やその逆、中点連結定理を理解し、図形の性質を証明することができる。
	・相似な図形の計量 1. 相似な図形の面積 2. 相似な立体の表面積・体積	(知) 相似な図形や立体の相似比と面積比や、表面積比・体積比の関係を理解し、比の関係をj用いて図形や立体の求積ができる。 (思) 相似な図形や立体の相似比と面積比や、表面積比・体積比を調べ、それらの関係について考察し表現することができる。
11	・相似の利用 1. 相似の利用	(知) 相似な図形の性質を活用して、図形の辺の比の関係を求めることができる。 (思) 具体的な場面において、相似な三角形を見つけ出し、直接測定できないような高さや距離を、縮図等を利用して求めることができる。
	・円周角と中心角 1. 円周角と中心角 2. 円周角の定理の逆	(知) 円周角と中心角の関係や、同じ弧に対する円周角の性質や、円周角の定理の逆の意味などを記号で表したり、それを用いて角の大きさを求めたりすることができる。 (思) 円周角と中心角の関係や、同じ弧に対する円周角の性質を見だし、その証明にどのような図形の性質が用いられているか考察し表現することができる。また、円周角の定理の逆をもとに、異なるいくつかの点と同じ円周上にあるかを確認、表現することができる。
12	・円の性質の利用 1. 円の性質の利用	(知) 具体的な場面で、円の性質を活用して、問題を解決する方法が理解できる。 (思) 円周角と中心角の関係や、円周角の定理の逆など、円の性質を具体的な場面で活用することができる。
	・直角三角形の3辺の関係 1. 三平方の定理	(知) 直角三角形の辺の長さなどを求めることができる。 (思) 三平方の定理を見いだすことができる。
1	・三平方の定理の利用 1. 平面における線分の長さ	(知) 三平方の定理を活用して問題を解決する方法について理解できる。

	や面積 2. 空間における線分の長さ や体積	(思) 三平方の定理を具体的な場面で活用することができる。
2	・ 標本調査 1. 標本調査の方法 2. 母集団と標本の関係 3. データを活用して、問題を解決しよう	(知) 標本調査の必要性和意味を理解し、具体的な場面で問題を解決する方法として理解できる。 (思) 調査の結果を批判的に考察し、簡単な場合において母集団の傾向を推測することができる。

※「主体的に学習に取り組む態度」については、「知識・技能」、「思考・判断・表現」の指導を踏まえ、各単元全体を通して、

- [

 - ・ 学習内容の必要性和意味を考えようとしている。
 - ・ 学習内容について学んだことを生活や学習にいかそうとしている。
 - ・ 学習内容を活用した問題解決の過程をふり返って検討しようとしている。

]

の観点で評価する。

第3学年 理科 年間学習計画と評価

1 教科目標等について

目標	自然の事物・現象に関わり、理科の見方・考え方を働かせ、見通しをもって観察、実験を行うことなどを通して、自然の事物・現象を科学的に探究するために必要な資質・能力を次のとおり育成することを目指す。 (1) 自然の事物・現象についての理解を深め、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本的な技能を身に付けるようにする。〔知識及び技能〕 (2) 観察、実験などを行い、科学的に探究する力を養う。〔思考力、判断力、表現力等〕 (3) 自然の事物・現象に進んで関わり、科学的に探究しようとする態度を養う。 〔学びに向かう力、人間性等〕
教科書	未来へひろがる サイエンス 3 (啓林館)
副教材	理科の自主学習 3年(新学社)

2 評価の観点及び方法

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
自然の事物・現象についての基本的な概念や原理・法則などを理解しているとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身に付けている。 ・定期・小テスト等 ・パフォーマンス（技能）テスト ・ノートやレポートの記述内容	自然の事物・現象から問題を見だし、見通しをもって観察、実験などを行い、得られた結果を分析して解釈し、表現するなど、科学的に探究している。 ・定期・小テスト等 ・発言内容 ・ノートやレポートの記述内容	自然の事物・現象に進んで関わり、見通しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。 ・小テスト等 ・授業の様子や発言内容 ・ノートやレポートの記述内容 ・振り返り（自己・相互評価） ※「知識・技能」「思考・判断・表現」の観点からの学習状況を踏まえた評価とする。

3 学習についてのアドバイス

学校	・授業の『めあて』を意識しながら、積極的に学習活動へ参加しましょう。 ・これまでに学習した内容を生かして、仮説や予想を立てるようにしましょう。 ・理科用語や器具の操作方法は単に覚えるだけでなく、その意味を理解した上で、活用できるようにしましょう。 ・グループ活動には積極的に参加し、なかまの意見を聞いて自分の考えを深めましょう。 ・観察・実験では、結果をわかりやすくまとめ、テーマを理解して仮説や予想と比較しながら、何がわかったかを自分の言葉で表現しましょう。 ・学習した内容を『振り返り』、身のまわりの自然現象や日常生活の中の出来事との関わりを考えるようにしましょう。
家庭	・学習した内容で疑問に思ったことや興味をもったことは、自分で調べてみましょう。 ・継続的な学習ができるように、自分で計画を立てて実行できるようにしましょう。 ・学校で学んだことをワーク等ですぐに復習をすることで、確かな力にしましょう。

4 主な単元・教材及び目標

※単元等や目標については、主なものを明記しています。

月	主な単元・教材等	主な学習目標
4	【生命】 生命の連続性 1章 生物のふえ方と成長 2章 遺伝の規則性と遺伝子 3章 生物の種類の多様性と進化	・生物のふえ方には、無性生殖と有性生殖の2つがあることを見いだし、その違いを理解する。 ・種子から根がのびる様子の観察や、細胞分裂の観察を通して、生物の成長を細胞の分裂と関連づけて捉える。 ・有性生殖における減数分裂について理解する。 ・生物がふえていくとき、染色体にある遺伝子を介して親から子へ形質が伝わることや、そしてその伝わり方に規則性があることを理解する。
5		・現存の生物や化石の比較などを通して、現存の多様な生物は過去の生物が長い時間の経過の中で変化して生じてきたものであることを体のつくりと関連づけて理解する。 ・生物の間のつながりを時間的に見ることを通して、進化の概念を身につける。
6	【粒子】 化学変化とイオン 1章 水溶液とイオン 2章 電池とイオン 3章 酸・アルカリと塩	・水溶液の電気伝導性を調べる実験を行い、水溶液には電流が流れるものと流れないものがあることを見いだし、理解する。 ・電解質水溶液の電気分解の実験を行い、電極に物質が生成することからイオンの存在を見いだす。さらに、イオンの生成が原子の成り立ちに関係することを理解する。
7		・金属によってイオンへのなりやすさに違いがあることを見いだし、イオンのモデルと関連づけて理解する。 ・電池を製作し、電池では化学エネルギーが電気エネルギーに変換されていることを見いだす。 ・電池の基本的な仕組みが説明できる。 ・酸やアルカリの水溶液を用いた実験を行い、酸やアルカリのそれぞれの性質が水素イオンと水酸化物イオンによることを見いだす。 ・電離のようすをイオンのモデルを使って説明できる。 ・中和反応の実験により、酸とアルカリが反応すると塩と水ができることを見いだす。 ・中和反応をイオンのモデルを使って説明できる。
9	【エネルギー】 運動とエネルギー 1章 力の合成と分解 2章 物体の運動 3章 仕事とエネルギー 4章 多様なエネルギーとその移り変わり 5章 エネルギー資源とその利用	・水中にある物体には浮力がはたらくことを見いだし、重力と浮力のつり合いの関係から、浮き沈みのしくみを理解する。 ・作図によって合力を求めることができる。 ・分力の求め方を理解する。 ・記録タイマーなどを使って、物体の速さや運動の様子を調べる方法を身につける。 ・物体にはたらく力と運動の関係を理解する。 ・仕事の定義を理解し、仕事の原理を見いだす。 ・仕事をする能力としてエネルギーを定義し、位置エネルギーや

10		運動エネルギーの大きさと、物体の高さや質量、速さとの関係を見いだす。 ・摩擦や空気の抵抗がなければ、力学的エネルギーが保存されることを理解する。 ・身のまわりのさまざまなエネルギーについて気づき、それらのエネルギーはどのように移り変わるか理解する。 ・エネルギーの総量は一定に保たれることを理解する。 ・人間は多様なエネルギー資源を消費して活動していることを知り、将来にわたってエネルギー資源を確保し、安全で有効な利用と環境保全をはかることの重要性を認識する。
11	【地球】 宇宙を観る 1章 地球から宇宙へ 2章 太陽と恒星の動き 3章 月と金星の動きと見え方	・太陽の観察を行い、その観察記録や資料から、太陽の形や大きさ、表面の様子などの特徴を見だし、理解する。 ・観測資料などから惑星と恒星の特徴や太陽系の構造を理解する。 ・太陽の表面を観察したり記録したりする技能を身につける。 ・太陽や星座の日周運動の観察を行い、天体の日周運動が地球の自転による相対運動であることを理解する。 ・季節ごとの星座の位置の変化や太陽の南中高度の変化を調べ、それらの観察記録を、地球が公転していることや地軸が傾いていることと関連づけて理解する。 ・天体の動きを観察する技能を身につける。 ・月や金星の動きや見え方の観察を行い、月や金星の観察記録などから、見え方を月や金星の公転と関連づけて理解する。 ・月や金星の動きや形を観察したり記録したりする技能を身につける。
12		
1	【環境】 自然と人間 1章 自然界のつり合い 2章 さまざまな物質の利用	・植物、動物および微生物を、栄養摂取の面から相互に関連づけて捉える。 ・自然界では、生物がつり合いを保って生活していることを、観察などを通して見だし理解する。 ・日常生活や社会では、さまざまな物質が使用目的や用途に応じて使い分けられていることを認識し、物質を有効利用するためには、物質の再利用などが大切であることに気づく。 ・科学技術の発展の過程について、どのようなものがあるかを理解し、さまざまな科学技術の利用が人間の生活を豊かで便利にしていることを認識する。 ・身近な自然環境や地域の自然災害を調べる活動を行い、人間の活動などのさまざまな要因が自然環境に影響をあたえていることについて理解し、自然環境を保全することの重要性を認識する。 ・科学技術の発展と人間生活との関わり方について多面的、総合的に捉え、自然環境の保全と科学技術の利用の在り方について科学的に考察し、持続可能な社会をつくることの重要性を認識する。
2	と人間 3章 科学技術の発展 4章 人間と環境	
3	5章 持続可能な社会をめざして	

第3学年 音楽科 年間学習計画と評価

1 学年の目標等について

目 標	表現及び鑑賞の幅広い活動を通して、音楽的な見方・考え方を働かせ、生活や社会の中の音や音楽、音楽文化と豊かに関わる資質・能力を次のとおり育成することを目指す。 (1)曲想と音楽の構造や背景などとの関わり及び音楽の多様性について理解するとともに、創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な歌唱、器楽、創作の技能を身に付けるようにする。 (2)曲にふさわしい音楽表現を創意工夫することや、音楽を評価しながらよさや美しさを味わって聴くことができるようにする。 (3)主体的・協働的に表現及び鑑賞の学習に取り組み、音楽活動の楽しさを体験することを通して、音楽文化に親しむとともに、音楽によって生活を明るく豊かなものにし、音楽に親しんでいく態度を養う。
教科書	中学生の音楽2・3下(教育芸術社)、中学生の器楽(教育芸術社)
副教材等	キミウタ(教育芸術社)

2 評価の観点及び方法

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
・曲想と音楽の構造や背景などとの関わり及び音楽の多様性について理解している。 ・創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な技能を身に付け、歌唱、器楽、創作で表している。	・音楽を形づくっている要素や要素同士の関連を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、どのように表すかについて思いや意図をもったり、音楽を評価しながらよさや美しさを味わって聴いたりしている。	・音や音楽、音楽文化に親しむことができるよう、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に表現及び鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。
・授業の様子や発言内容 ・授業における練習の様子 ・ペーパーテスト ・実技テスト(演奏・聴き取り等) ・ワークシート等への記述内容 ・作品やレポート		

3 学習についてのアドバイス

学 校	人は表現することで、自分と出会い、自分の心を収め、受け入れ、理解することができます。表現は自分自身との対話とも言えます。表現は言葉や声、身振り手振りや表情などで表し、自分を伝えるものです。 ・音楽の約束(音符、拍子、音階、和音、強弱記号、速度記号など)を理解して、それらを生かして音楽の活動(歌唱、器楽、創作、鑑賞)に積極的に取り組みましょう。 ・曲の特徴やよさを理解して、ふさわしい表現(演奏)ができるよう工夫しましょう。 ・楽器の構造や特徴を理解し、それらを生かして演奏しましょう。 ・自分の声(音)だけでなく周りの声(音)をよく聴き、他者と話し合ったり、アドバイスし合ったりしながら、よりよい演奏となるよう工夫しましょう。 ・音のつながりに気をつけ、旋律やリズムを自分なりに工夫して創作しましょう。 ・作曲者や作詞者の思いや時代背景を知り、声や各楽器の音色、曲のつくり方などに気をつけて鑑賞しましょう。 ・ワークシートには、自分の思いや考え、感じたこと(感想)を書きましょう。
家 庭	・日常生活において流れている音楽に耳を傾けましょう。 ・授業等で興味をもった曲は、作曲者、音楽の特徴やその背景となる文化や歴史を自分で調べてみましょう。

4 題材・目標等について

学期	題 材	題材の目標	教 材
1 学 期	日本の歌のよさや美しさを理解して、歌唱表現を工夫しよう	・情景を思い浮かべながら、言葉を大切に して合唱しよう。 ・詩や曲の背景を理解して歌おう。	花（共通教材） My Voice!
	音楽の特徴や背景を理解して、その魅力を味わおう	・作曲者の思いを感じ取りながら、音楽を 味わおう。 ・楽器の音色に親しみながら、オーケスト ラの響きを味わおう。	ブルタバ（モルダウ）
	曲の構成を理解して、リズムアンサンプルの表現を工夫しよう	・音の特徴や重なりを感じてリズムアン サンプルをつくろう。	Let's Create!
	曲想と音楽の構造との関わりを理解して、歌唱表現を工夫しよう	・歌詞と旋律の関わりに注目して合唱し よう。 ・音楽を形づくっている要素を振り返ろ う。	幸せ
2 学 期	全体の響きや各声部の役割を生かして、歌唱表現を工夫しよう	・作者のメッセージを受け止め、思いを込 めて合唱しよう。 ・声が響き合う美しさを味わいながら合 唱しよう。	合唱コンクールの曲 指揮をしてみよう！
	音楽の特徴や背景を理解して、その魅力を味わおう	・作曲者の思いを感じ取りながら、音楽を 味わおう。 ・楽器の音色に親しみながら、オーケスト ラの響きを味わおう。	社会を映し出す音楽 ボレロ 曲のよさをプレゼンし よう
3 学 期	ポピュラー音楽の特徴を理解して、その魅力を味わおう	・ポピュラー音楽を聴いて、そのよさを味 わおう。	ポピュラー音楽 ポピュラー音楽のジャ ンル 生活や社会の中の音楽
	仲間とともに、表情豊かに合唱しよう	・曲にふさわしい歌唱表現を創意工夫し て歌おう。	心通う合唱
	生活や社会の中の音楽について意識しながら歌おう。	・音や音楽が、私たちの暮らしにおいて果 たす役割について生活や社会の中の音 楽について意識しながら歌おう。	卒業式歌 国歌「君が代」・校歌 春風の中で

第3学年 美術科 年間学習計画と評価

1 教科目標等について

目標	表現及び鑑賞の幅広い活動を通して、造形的な見方・考え方を働かせ、生活や社会の中の美術や美術文化と豊かに関わる資質・能力を次のとおり育成することを目指す。
	(1) 対象や事象を捉える造形的な視点について理解するとともに、表現方法を創意工夫し、創造的に表すことができるようにする。 (2) 造形的なよさや美しさ、表現の意図と工夫、美術の働きなどについて考え、主題を生み出し豊かに発想し構想を練ったり、美術や美術文化に対する見方や感じ方を深めたりすることができるようにする。 (3) 美術の創造活動の喜びを味わい、美術を愛好する心情を育み、感性を豊かにし、心豊かな生活を創造していく態度を養い、豊かな情操を培う。
教科書	教科書「美術2・3上学びの実感と広がり・美術2・3下学びの探求と未来」(日本文教出版)
副教材	資料集『美術 表現と鑑賞 一思いを形に一』(開隆堂)

2 評価の観点及び方法

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
- 対象や事象を捉える造形的な視点について理解している。 - 意図に応じて自分の表現方法を追求し、創造的に表している。	自然の造形や美術作品などの造形的なよさや美しさ、表現の意図と創造的な工夫、機能性と洗練された美しさとの調和、美術の働きなどについて独創的・総合的に考えるとともに、主題を生み出し豊かに発想し構想を練ったり、美術や美術文化に対する見方や感じ方を深めたりしている。	美術の創造活動の喜びを味わい主体的に表現及び鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。
- アイディアスケッチ - ワークシート - 授業の様子や発言内容 - 作品 - 定期テスト - 授業の振り返りシート	- アイディアスケッチ - ワークシート - 授業の様子や発言内容 - 作品 - 定期テスト - 授業の振り返りシート	- アイディアスケッチ - ワークシート - 授業の様子や発言内容 - 作品 - 授業の振り返りシート

3 学習についてのアドバイス

学校	- 授業中は教科書・資料集)やそのときに指示された準備物を準備して、聴く姿勢を維持しましょう。 - 制作活動では、アイディアスケッチや資料を基に、習得した技術を活かしながら自分の想いや考えを表現しましょう。 - 自分の想いと表現を追求する為に、集中して取り組みましょう。 - 個人で表現を深める時間と、仲間との意見交流により表現の幅を広げる時間との切り替えを明確にして取り組みましょう。 - 自分の意図通りに制作が進まない時は意欲的に質問を重ね、意見交流と鑑賞も積極的に生かしましょう。 - 作品、プリント類の期日を守って提出しましょう。
	- 日常生活の中で、身近な事柄と美術のつながりを考えましょう。 - テストは実技もありますので、範囲内の課題の練習を当日までに行い、資料と授業で習得したことを生かせるようにしましょう。 - 休日などに近隣の美術館に足を運び、鑑賞を通した感動を深めましょう。
家庭	

4 主な単元・教材及び目標

※単元等や目標については、主なものを明記しています。

月	主な題材・教材等	主な学習目標
1 学期	○オリエンテーション ○絵画の移り変わり (鑑賞) ○投影図や透視図を使った 構成 (デザイン)	3年生の美術科での学習内容を知り、3年間のまとめとしてどのようなものを制作していくか、これからの学習の見通しをもつ。 印象派以降の美術史について学び、表現方法の移り変わりについて、色や色彩、構図や描き方などから、作者の心情や意図、創造的な表現の工夫を感じ取り、友達の意見なども聞きながら、自分の見方や感じ方を広げる。 ・立体感だけでなく遠近感や空間の広がりや伝わるよう、形や色彩、構成を考えてデザインする。 ・身近なところにあるデザインを鑑賞し、形や色彩から受ける印象やその違いについて考える。
2 学期	○投影図や透視図を使った 構成 (デザイン) ・生徒作品鑑賞 ○日本画と西洋画 (鑑賞) ○学校を良くするピクトグラム (デザイン)	・立体感だけでなく遠近感や空間の広がりや伝わるよう、形や色彩、構成を考えてデザインする。 ・明暗・立体感を表現できるように着彩する。 ・互いの作品を鑑賞し合い、よさや美しさ、表現の工夫などについて考えを深める。 ・ジャポニズムの美術を鑑賞し、日本画と西洋画の表現の違いや要素が合わさったジャポニズムの特徴、表現を感じ取り、友達の意見なども聞きながら、自分の見方や感じ方を広げる。 ・身近なデザインであるピクトグラムを知り、デザインのルールや配色などを学び、オリジナルのピクトグラムをタブレットを用いてデザインする。 ・目的に合った配色の工夫をする。
3 学期	○学校を良くするピクトグラム (デザイン) ・生徒作品鑑賞	・身近なデザインであるピクトグラムを知り、デザインのルールや配色などを学び、オリジナルのピクトグラムをタブレットを用いてデザインする。 ・互いの作品を鑑賞し合い、よさや美しさ、表現の工夫などについて考えを深める。

第3学年 保健体育科 年間学習計画と評価

1 学年の目標等について

目標	体育や保健の見方・考え方を働かせ、課題を発見し、合理的な解決に向けた学習活動を通して、心と体を一体として捉え、傷害にわたって心身の健康を保持増進し豊かなスポーツライフを実現するための資質・能力を次のとおり育成する。 【体育分野】 (1)運動の合理的な実践を通して、運動の楽しさや喜びを味わい、運動を豊かに実践できるようにするため、運動、体力の必要性について理解するとともに、基本的な技能を身に付けるようにする。 (2)運動についての自己や仲間の課題を発見し、合理的な解決に向けて思考し判断するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝える力を養う。 (3)運動における競争や協働の経験を通して、公正に取り組む、互いに協力する、自己の責任を果たす、参画する、一人一人の違いを大切にしようとするなどの意欲を育てるとともに、健康・安全を確保して、生涯にわたって運動に親しむ態度を養う。 【保健分野】 (1)個人生活における健康・安全について理解し、基本的な技能を身に付けるようにする。 (2)健康についての自他の課題を発見し、よりよい解決に向けて思考し判断するとともに、他者に伝える力を養う。 (3)生涯を通じて心身の健康の保持増進を目指し、明るく豊かな生活を営む態度を養う。
	教科書
副教材等	中学校保健体育（大修館書店）
	中学校体育実技（学研）

2 評価の観点及び方法

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
・運動の技の名称や行い方、体力の高め方、運動観察の方法、スポーツを行う際の健康・安全の確保の仕方についての具体的な方法及び文化としてのスポーツの意義についての考え方を理解している。 ・健康な生活と疾病の予防、心身の機能の発達と心の健康、傷害の防止、健康と環境について個人生活を中心として科学的に理解している。 ・運動の特性に応じた基本的な技能や保健に関する基本的な技能を身に付けている。	・生涯にわたって運動を豊かに実践するための自己や仲間の課題を発見し、課題に応じた運動の組み合わせ方を工夫しているとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えている。 ・個人生活における健康に関する課題を発見し、その解決を目指して思考し判断しているとともに、それらを他者に伝えている。	・運動の楽しさや喜びを味わうことができるよう、公正、協力、責任、参画、共生などに対する意欲をもち、健康・安全を確保して、学習に主体的に取り組もうとしている。 ・自他の健康の保持増進や回復についての学習に主体的に取り組もうとしている。
・授業の様子や発言内容 ・学習カード、プリントの内容 ・定期テスト ・実技テスト	・授業の様子や発言内容 ・学習カード、プリントの内容 ・定期テスト ・実技テスト	・授業の様子や発言内容 ・学習カード等の内容

3 学習についてのアドバイス

学 校	・先生の指示や友達の発言をしっかりと聞き、自分に取り入れましょう。 ・どの学習活動も仲間と協力し、粘り強く取り組みましょう。 ・学習カード、振り返りは、この時間学んだことや次の時間の課題などを整理するようにしましょう。 ・ルールやマナーを守り、怪我や事故に気をつけ、安心・安全な活動につなげましょう。
	・授業に入る前には、教科書等の内容を読むようにしましょう。 ・授業で学んだ健康や安全など保健に関わる知識や技能は、家庭でも活用するように心がけましょう。

4 主な単元・教材及び目標

※目標については、主なものを明記しています。

月	主な単元・教材等	目標（学習を通して身に付ける力）
1 学 期	体づくり運動 集団行動 新体力テスト	・心や体との関係や心身の状態に気付き、仲間と積極的に関わり合う。 ・運動に積極的に取り組み、仲間の学習を援助しようとする。 ・健康・安全に気を配ることができる。 ・集団行動での基本的な行動の仕方を理解し行動できる。 ・持久力、柔軟性、筋力等の測定を行い、自己の課題に気付く。
	陸上競技 ・ハードル走	・リズムカルな走りから滑らかにハードルを越すことができる。 ・自分の課題を発見し、解決に向けて取り組み方を工夫するとともに、自分の考えたことを伝える。 ・積極的に取り組み、勝敗などを認め、ルールやマナーを守ろうとすること、分担した役割を果たそうとすること、仲間の課題や挑戦を認めようとするなどや、健康・安全に気を配ることができる。
	球技 ・ネット型 (バレーボール)	・役割に応じたボール操作や安定した用具の操作と連携した動きによって空いた場所をめぐる攻防をすることができる。 ・自分やチームの課題を発見し、解決に向けての取り組み方を工夫し、自分や仲間の考えたことを伝える。 ・自主的に取り組み、フェアプレイを大切にしようとし、作戦などについての話し合いに貢献しようとし、友達のプレイなどを大切にしようとし、互いに助け合い教え合おうとし、健康・安全に気を確保することができる。
	保健 ・健康の成り立ちと疾病の発生要因・生活習慣と健康	・健康の成り立ちと疾病の発生要因、生活習慣と健康について理解する。 ・課題を発見し、疾病等のリスクを軽減したり、生活の質を高めたりすることなどに関連付けて解決方法を考え、適切な方法を選択し、それらを伝え合う。 ・課題の解決に向けた学習に自主的に取り組む。
	保健 ・感染症の予防 ・健康を守る社会の取組	・感染症の予防、健康を守る社会の取り組みについて、理解する。 ・習得した知識を自他の生活に適用したり、応用したりして、疾病等にかかるリスクを軽減し健康を保持増進する方法を選択する。 ・課題の解決に向けた学習に自主的に取り組むことができるようにする。
2 学 期	体育祭練習	・積極的に取り組み、よりよい記録ができるよう仲間と共に協力する。 ・自分の課題を発見し、解決に向けて運動に取り組み方を工夫するとともに、自分や友達が考えたことを伝える。 ・友達の動きを認め、話し合いに参加し、健康・安全に気を配る。
	球技 ・ゴール型	・安定したボール操作と空間を作りだすなどの動きによってゴール前への侵入などから攻防をすることができる。 ・自分やチームの課題を発見し、解決に向けての取り組み方を工夫するとともに、自分や仲間の考えたことを伝える。 ・自主的に取り組み、フェアプレイを大切にしようとし、作戦などについての話し合いに貢献しようとし、友達のプレイなどを大切にしようとし、互いに助け合い教え合おうとし、健康・安全に気を確保することができる。
	武道 ・剣道	・礼法の意味を理解し正しく行うことができる。気迫のこもった胴打ちを行うことができる。防具を正しく装着することができる。 ・積極的に取り組み、相手を尊重し、伝統的な行動の仕方を守ろうとすること、友達の課題や挑戦を認めようとするなどや、禁じ技を用いないなど健康・安全に気を配る
	陸上競技 ・長距離走	・ペースを守って走ることができる。 ・自分の課題を発見し、解決に向けての取り組み方を工夫するとともに、自分の考えた

3 学 期		ことを伝える。 ・積極的に取り組み、勝敗などを認め、ルールやマナーを守ろうとすること、分担した役割を果たそうとすること、仲間の課題や挑戦を認めようとするなどや、健康・安全に気を配ることができる。
	保健 ・生活習慣病などの予防 ・がん教育	・生活習慣病などの予防について理解する。 ・自分の課題を発見し、疾病等のリスクを軽減したり、生活の質を高めたりすることなどに関連付けて解決方法を考え、適切な方法を選択し、それらを伝え合う。 ・課題の解決に向けた学習に自主的に粘り強く取り組むことができるようにする。
	球技 ・ネット型 (卓球、バドミントンなど)	・安定したボールや用具の操作と定位置に戻るなどの動きによって空いた場所をめぐる攻防をすることができる。 ・自分やチームの課題を発見し、解決に向けての取り組み方を工夫するとともに、自分や仲間の考えたことを伝える。 ・自主的に取り組み、フェアプレイを大切にしようとする、作戦などについての話し合いに貢献しようとする、友達のプレイなどを大切にしようとする、互いに助け合い教え合おうとするなどや、健康・安全に気を確保することができる。
	保健 ・喫煙・飲酒・薬物乱用と健康 体育理論	・喫煙、飲酒、薬物乱用と健康について理解する。 ・自分の課題を発見し、疾病等のリスクを軽減したり、生活の質を高めたりすることなどに関連付けて解決方法を考え、適切な方法を選択し、それらを伝え合う。 ・課題の解決に向けた学習に自主的に粘り強く取り組むことができるようにする。 ・文化としてのスポーツの意義について理解する。 ・自分の課題を発見し、よりよい解決に向けて思考し判断するとともに、他者に伝える。 ・学習に自主的に取り組むことができるようにする。

※各運動領域において、その運動ならではの楽しさや喜びを味わい、特性や成り立ち、技術の名称や行い方、その運動に関連して高まる体力などを理解することも身に付ける力として含む。

第3学年 技術科 年間学習計画と評価

1 教科目標等について

目標	生活の営みに係る見方・考え方や技術の見方・考え方を働かせ、生活や技術に関する実践的・体験的な活動を通して、よりよい生活の実現や持続可能な社会の構築に向けて、生活を工夫し創造する資質・能力を養う。 (1)生活と技術についての基礎的な理解を図るとともに、それらに係る技能を身に付けるようにする。〔知識及び技能〕 (2)生活や社会の中から問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、表現するなど、課題を解決する力を養う。〔思考力、判断力、表現力等〕 (3)よりよい生活の実現や持続可能な社会の構築に向けて、生活を工夫し創造しようとする実践的な態度を養う。〔学びに向かう力、人間性等〕
教科書	技術・家庭 技術分野（開隆堂）

2 評価の観点及び方法

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
生活や社会で利用されている技術について理解しているとともに、それらに係る技能を身に付け、技術と生活や社会、環境との関わりについて理解している。	生活や社会の中から技術に関わる問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、表現するなどして課題を解決する力を身に付けている。	よりよい生活の実現や持続可能な社会の構築に向けて、課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、技術を工夫し創造しようとしている。
・定期・小テスト等 ・ワークシートへの記述 ・授業の様子や発言内容	・定期・小テスト等 ・授業の様子や発言内容 ・ワークシートへの記述 ・指導に対する成果物（レポート、作品、パフォーマンス課題等）	・授業の様子や発言内容 ・指導に対する成果物（レポート、作品等） ・振り返り（自己・相互評価）

3 学習についてのアドバイス

学 校	・準備物を忘れずに持ってくるようにしましょう。 ・授業中に話したことはしっかりと聞き、必要に応じてプリントに書き込むようにしましょう。さらに応用的なこと（日常生活）に活かせるようにしましょう。 ・技術室等の特別教室を利用するときは、安全に事故やケガをしないように心がけましょう。 ・タブレットパソコンの使用について、学びに使う道具であることを踏まえ、情報を探したり、意見を共有したりすることに利用できるよう、基礎的な操作やモラルを身につけましょう。
家 庭	・学習した内容で分からない部分は復習をしておきましょう。 ・作図や作業の手順、機械や道具の名前、使い方のポイントなどをしっかりと確認しておきましょう。 ・家の手伝いを積極的に行い、学習した内容を活かそうと心がけましょう。

4 主な単元・教材及び目標

※単元等や目標については、主なものを明記しています。

月	主な単元・教材等	主な学習目標
1 学 期	・エネルギー変換についての基礎的・基本的な知識・技能	・電気、運動、熱などについての科学的な原理・法則やエネルギーの変換や伝達などに関わる基礎的な技術の仕組みの理解することができる。 ・発電方法の種類と簡単な原理に触れ、社会で利用されている発電方法について、自分の考えを持つことができる。 ・エネルギー変換の技術に込められた工夫を読み取ることができる。
2 学 期	・エネルギー変換の技術による問題の解決	・安全・適切な製作、実装、点検及び調整等を行うことができる。 ・エネルギー変換の技術の見方・考え方を働かせて、問題を見いだして課題を設定し 解決することができる。
3 学 期	・社会の発展とエネルギー変換の技術	・生活や社会に果たす役割や影響に基づいたエネルギー変換の技術の概念を理解することができる。 ・よりよい生活や持続可能な社会の構築に向けて、エネルギー変換の技術を評価し、適切に選択、管理・運用したり、新たな発想に基づいて改良、応用したりすることができる。

第3学年 外国語科 年間学習計画と評価

1 教科目標等について

目標	外国語によるコミュニケーションにおける見方・考え方を働かせ、外国語による聞くこと、読むこと、話すこと、書くことの言語活動を通して、簡単な情報や考えなどを理解したり表現したり伝え合ったりするコミュニケーションを図る資質・能力を養う。 (1) 外国語の音声や語彙、表現、文法、言語の働きなどを理解するとともに、これらの知識を、聞くこと、読むこと、話すこと、書くことによる実際のコミュニケーションにおいて活用できる技能を身に付けるようにする。〔知識及び技能〕 (2) コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、日常的な話題や社会的な話題について、外国語で簡単な情報や考えなどを理解したり、これらを活用して表現したり伝え合ったりすることができる力を養う。〔思考力、判断力、表現力等〕 (3) 外国語の背景にある文化に対する理解を深め、聞き手、読み手、話し手、書き手に配慮しながら、主体的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとする態度を養う。〔学びに向かう力、人間性等〕
教科書	Here We Go! ENGLISH COURSE 3
副教材	めきめき English 3 (浜島書店)、miki Notebook (浜島書店)

2 評価の観点及び方法

	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
聞くこと	〔知識〕 英語の特徴やきまりに関する事項を理解している。 〔技能〕 実際のコミュニケーションにおいて、日常的な話題や社会的な話題について、はっきりと話された文章等を聞いて、その内容を捉える技能を身に付けている。	コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、日常的な話題や社会的な話題についてはっきりと話される文章を聞いて、必要な情報や概要、要点を捉えている。	外国語の背景にある文化に対する理解を深め、話し手に配慮しながら、主体的に英語で話されることを聞こうとしている。
読むこと	〔知識〕 英語の特徴やきまりに関する事項を理解している。 〔技能〕 実際のコミュニケーションにおいて、日常的な話題や社会的な話題について書かれた短い文章等を読んで、その内容を捉える技能を身に付けている。	コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、日常的な話題や社会的な話題について書かれた短い文章を読んで、必要な情報や概要、要点を捉えている。	外国語の背景にある文化に対する理解を深め、書き手に配慮しながら、主体的に英語で書かれたことを読もうとしている。

話すこと（やり取り）	[知識] 英語の特徴やきまりに関する事項を理解している。 [技能] 実際のコミュニケーションにおいて、日常的な話題や社会的な話題について、事実や自分の考え、気持ちなどを、簡単な語句や文を用いて伝え合う技能を身に付けている。	コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、日常的な話題や社会的な話題について、事実や自分の考え、気持ちなどを、簡単な語句や文を用いて、伝え合っている。	外国語の背景にある文化に対する理解を深め、聞き手、話し手に配慮しながら、主体的に英語を用いて伝え合おうとしている。
話すこと（発表）	[知識] 英語の特徴やきまりに関する事項を理解している。 [技能] 実際のコミュニケーションにおいて、日常的な話題や社会的な話題などについて、事実や自分の考え、気持ちなどを、簡単な語句や文を用いて話す技能を身に付けている。	コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、日常的な話題や社会的な話題について、事実や自分の考え、気持ちなどを、簡単な語句や文を用いて、話している。	外国語の背景にある文化に対する理解を深め、聞き手に配慮しながら、主体的に英語を用いて話そうとしている。
書くこと	[知識] 英語の特徴やきまりに関する事項を理解している。 [技能] 実際のコミュニケーションにおいて、日常的な話題や社会的な話題などについて、事実や自分の考え、気持ちなどを、簡単な語句や文を用いて、またはそれらを正確に用いて書く技能を身に付けている。	コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、日常的な話題や社会的な話題などについて、事実や自分の考え、気持ちなどを、簡単な語句や文を用いて、書いている。	外国語の背景にある文化に対する理解を深め、聞き手、読み手、話し手、書き手に配慮しながら、主体的に英語を用いて書こうとしている。
	・定期・単元テスト等 ・パフォーマンステスト ・授業様子や発言内容 ・指導に対する成果物（ノート、ワークシート等）	・定期・単元テスト等 ・パフォーマンステスト ・授業様子や発言内容 ・指導に対する成果物（ノート、ワークシート等）	・授業の様子や発言内容 ・パフォーマンステスト ・指導に対する成果物（ノート、ワークシート等） ・振り返り（自己・相互評価）

3 学習についてのアドバイス

学 校	・間違えることを恐れずに、積極的に英語を使いましょう。 ・音読練習や会話練習などは、しっかり声を出して練習しましょう。 ・ペアやグループでの活動に意欲的に取り組みましょう。 ・授業だけでなく、授業以外の時間も積極的に YEF の先生に話しかけましょう。 ・単元終了時や定期テスト後に自分の理解度を振り返り、見直しをしましょう。
--------	---

- ・学習した内容は、その日にワークなどを活用して復習しましょう。
- ・教科書の本文を、何度も音読しましょう。
- ・言えるようになった英文を、ノートに書いて繰り返し練習しましょう。
- ・テレビ、ラジオ、インターネット等を通して、英語に触れる機会を自主的に作りましょう。

4 主な単元・教材及び目標

※単元等や目標については、主なものを明記しています。

月	主な単元・教材等	主な学習目標
4	Unit 1 Virtual Safari Tour	・アフリカの野生動物の記事から、質問の答えに必要な情報を読み取ることができる。 ・記事から読み取った事実をもとに、自分の考えを発表することができる。
5	Daily Life 1 計画を立てよう	・週末の予定について、音声聞いて質問された内容に答えることができる。
5	Unit 2 Our School Trip	・修学旅行のコースについての話し合いを聞いて、話し手の意見の要点をとらえることができる。 ・聞いた話をまとめたり、自分の意見を伝えたりすることができる。
6	Daily Life 2 留守番電話	・留守番電話を聞いて用件を把握し、返答をすることができる。
6	Unit 3 Lessons from Hiroshima	・ピースボランティアの西村宏子さんの手記を読み、大まかな内容をとらえることができる。 ・読んだ手記の感想や考えをレポートに書くことができる。
6	Active Grammar 1 現在完了形／現在完了進行形	・過去とつながりのある現在の常態を伝えることができる。
7	Let's Read 1 Visas for 6,000 Lives	・杉原千畝の伝記を読み、彼の功績を大まかにとらえて、その内容を自分の言葉で説明することができる。
7	You Can Do It! 1 学校生活について意見をまとめよう	・学校生活についての英文を読んで、内容をとらえることができる。 ・話し合いの中で意見をまとめることができる。
7	World Tour! Speak Up!	・世界を変える若者たちの紹介動画を見て、要点を聞き取ることができる。
9	Unit 4 AI Technology and Language	・外国語を学ぶことの意義についての投稿文を読み、それぞれの意見の要点をとらえることができる。 ・読んだ投稿文についての自分の意見を整理して書くことができる。
9	Let's Read 2 Living with Robots	・ロボットに関する説明文を読んで要点をとらえ、自分の考え書いて説明することができる。
10	Daily Life 3 レシピ	・ハロウィンの伝統菓子のレシピから、必要な情報をよみとることができる。
10	Unit 5 My Dreams for the Future	・世界の課題についてのプレゼンテーションの原稿を読み、概要をとらえることができる。 ・調べたことや自分の考えを順序だてて発表することができる。
11	Daily Life 4 講演	・バリ島についての講演を聞いて、大まかな内容をとらえ、

		感想を書くことができる。
	Unit 6 The Chorus Contest	・おすすめの作品について話を聞き、大まかな内容をとらえることができる。 ・おすすめの作品について、詳しい情報を伝え合うことができる。
12	Active Grammar 2 後置修飾	・名詞の後ろに説明を追加する言い方を理解し、使うことができる。
	You Can Do It! 2 持続可能な社会に向けリポートしよう	・持続可能な社会の実現に向けた取り組みのレポートから、いちばん伝えたいことを読み取ることができる。 ・情報をもとに、考えを整理して伝えることができる。
	World Tour2 If the World Were a village of 100 people	・世界の現状を「100人の村」にたとえて紹介する音声聞き、大まかな内容をとらえることができる。
1	Unit 7 Tina's Speech	・スピーチを聞いて、伝えている内容の要点をとらえることができる。 ・伝え方を工夫して、思いが伝わるスピーチをすることができる。
2	Let's Read 3 Changing the World	・環境に関するスピーチ原稿を読んで要点をとらえ、それに対する自分の考えを伝え合うことができる。
	Active Grammar3 仮定法	・現実とは違う、仮定の話をするすることができる。
	Unit 8 Goodbye, Tina	・手紙から、書き手が伝えたい気持ちを読み取ることができる。 ・表現を工夫して、自分の気持ちを伝える手紙を書くことができる。
	You Can Do It! 3 自分たちのこれからに言葉を贈ろう	・大切な人や自分に宛てて気持ちを表現することができる。
3	Let's Read more 1 Elections in Norway	・ノルウェーの選挙についての記事を読んで、おおまかな内容をとらえることができる。
	Let's Read more 2 Fight for Equality	・伝記を読んで、20世紀中頃のアメリカ南部での黒人差別や隔離について大まかな内容をとらえることができる。
	Let's Read more 3 A story from The Adventure of Tom Sawyer	・「トム・ソーヤの冒険」の1節を読んで、おおまかな内容をとらえることができる。

*1 学期に英検 IBA を実施します。